

令和3年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	36	学校名(課程)	小諸商業高等学校(全日制)
------	----	---------	---------------

1 全体目標

○人の役に立ち、世の中の役に立ち、自律して生き抜く人材を育てる。

2 現状・課題

- ・進学・就職の割合が、7:3 ⇒ 8:2 で近年推移している。
- ・商業科での学びを次の進路先につなげようとする姿は見られるが、目標を高く掲げようとはせず、今の実力で容易に入れる進学先、就職先を選択する傾向がある。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい

- 自分を知り、他者を理解し、人とのつながりの中で、自分をコントロールできる力。
- 現代社会の流れを感知し、社会の中で自分はどのように生き抜いていくかを考え、実践する力。
- 現状を知り、自分が乗り越えなければならない課題を見つけ、乗り越えるための方策を他者と共有しながら行動する力。

4 内容

指導項目	指導方針(対応する項目)
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する	ア 3年間、学校全体で段階的、組織的にキャリア教育に取り組む。〈①～④〉 イ 自らを知るとともに、人とのつながりの中で、自らをコントロールできるようにする。〈①、②〉
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ さまざまな検査、講演会、学校行事をとおして、生徒に何を学ばせ、どんな知識・技能・力を身につけさせるのかを明確にする。〈③〉
③多角的な体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 現代の社会が求めている人間像を明確にすると共に、そのようになるために今、何をすべきかを明確にさせる。〈②～④〉
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等(実施学年)
教科の授業	・自分のキャリアプランに対して、今、学んでいることがどのような意味を持つのかを、常に自覚させる。〈1～3年〉
総合的な探究の時間	(課題研究で代替)
特別活動	・LHRの中で、どの時期に何を行うかを明らかにし、計画的にキャリア教育を実施する。〈1～3年〉 ・学校行事をとおして何を生徒に体験させ、どんな力をつけさせたいのかを明確にする。〈1～3年〉
校外の体験活動(就業体験活動等)	・就職希望はもとより、それ以外の生徒にも、キャリアプラン作成に役立つような就業体験に積極的に参加させる。〈1～3年〉
地域や産業界等との連携	・スマイル小商店街の活動をとおして地域の人々と触れ合い、地域に貢献する。〈2～3年〉 ・キッズワーク、小高連携事業を通じて、子どもと接する中で自らを高める。〈1～3年〉
評価	・自己評価、生徒間での相互評価を重視する。〈1～3年〉 ・基礎力診断テスト(業者テスト)などから「生徒意識調査」を活用する。〈1～3年〉
中学校との連携(指導の継続性)	・高校入学時からキャリア教育を実施する。そのスタートとして、中学時のキャリアプランを振り返る。〈1年〉
校内の推進体制	・教頭が中心となり、学年会、進路指導、教科指導、生徒指導、生徒会係等の連絡調整を行い、学校全体としてキャリア教育に取り組む。

キャリア・パスポートの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごと、学年ごとに「キャリア・パスポート」で、高校生活を見通したり、振り返ったりしながら、学びの履歴を積み重ねていく。 ・就業体験、学校行事、課題研究等を「キャリア・パスポート」で、見通したり、振り返ったりしながら、学びの履歴を積み重ねていく。
---------------	---

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣と学習習慣を身につける。 ○基礎学力を定着させ、家庭学習時間を確保する。 ○自分の生き方を問いかけ、自分で判断していくことによって、自律する人材を育て上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○普通教科における基礎学力の定着と専門科目における知識・技能の向上を図る。 ○現在の社会や経済の仕組みについての理解を深め、自分の生き方について考える。 ○地域との交流を通じて、課題解決能力・実践力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○商業・ビジネスに関する高度な専門知識と技能を修得する。 ○地域に貢献すると共に、自らを成長させることのできる力を養う。 ○自分のライフプランについて考える。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○生活実態調査・挨拶・身だしなみの指導 ○担任と生徒の個別面談(月に一度) 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路ガイダンスの実施 ○進路講演会の実施 ○スマイル小商店街の運営 ○連携事業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路ガイダンスの実施 ○担任や進路指導係と生徒の個別面談 ○スマイル小商店街の運営 ○連携事業の充実
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(基礎力診断テスト等) ・自己評価、生徒間の相互評価の重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(業者テスト等) ・YP検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(業者テスト等) ・自己評価、生徒間の相互評価の重視

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他(面接・評価等)
1 年	4 高校の学習へのオリエンテーション 全教科:基礎学力を定着させ、学習習慣を確立する。(通年) 基礎力診断テスト① 5 商業科目:資格取得とキャリアプラン①	/	高校生活オリエンテーション 小商祭 金融機関の仕事 (上田信用金庫・職員派遣)	自己発見リサーチ 個人面談の実施 (月に一回)
	夏 休 □合同学習会(予定)		□就業体験活動	
	9 「ビジネス基礎」販売・サービスの心得 スマイル小商店街 コース選択・選択講座ガイダンス 11 基礎力診断テスト②		クラスマッチ スマイル小商店街準備 販売に関する専門知識の習得とビジネスマナーの学習 合唱コンクール	生徒意識調査
	1 スマイル小商店街株主総会 商業科目:資格取得とキャリアプラン② 3 基礎力診断テスト(2-①)		スマイル小商店街株主総会	生徒意識調査
春 休		□就業体験 □オープンキャンパス参加		
2 年	4 教科ガイダンス 普通教科における学力の向上と専門科目における知識・理解・技能の向上を図る。(年間で取り組む) 7 商業科目:資格取得とキャリアプラン③	/	新学年ガイダンス □1日看護体験(希望者・予定) 小商祭	YP検査(アセスメント) 個人面談の実施 (月に一回)
	夏 休 □検定補習(希望者)		□就業体験活動	
	9 商業科目 販売・サービスのポイント スマイル小商店街 コース選択・選択講座ガイダンス		クラスマッチ スマイル小商店街準備 販売に関する専門知識の習得とビジネスマナーの学習	YP検査(アセスメント) 生徒意識調査

	11 基礎力診断テスト②	/	合唱コンクール	
	1 スマイル小商店街株主総会 商業科目：資格取得とキャリア プラン④		スマイル小商店街株主総会 卒業生と語る会	生徒意識調査
	3 基礎力診断テスト3-① 春 休		<u>オープンキャンパス参加</u>	
3 年	4 教科ガイダンス 小高連携事業：地域に貢献する と共に、自らを成長させること のできる力を養う(11月まで)	(課題研究で代替)	新学年ガイダンス <u>1日看護体験(希望者・予定)</u> 小商祭	
	7 商業科目：資格取得とキャリア プラン⑤			
	夏 検定補習(希望者) 休		<u>就業体験活動</u>	
	9 商業科目 販売・営業のポイン ト スマイル小商店街		クラスマッチ スマイル小商店街準備 販売に関する専門知識の習得とビ ジネスマナーの学習 合唱コンクール	
	1 スマイル小商店街株主総会 1 課題研究発表会		スマイル小商店街株主総会 課題研究発表会	